

財務

予算

国立大学法人である九州大学の予算は、本学が定める年度計画に沿って実施する教育・研究・診療等において、資金面での拠となるものです。

本学における予算の特徴としては、収入面では、国から交付を受ける運営費交付金が減少する中、附属病院収入や産学連携等研究収入が大きく増加しており、中でも附属病院収入は、病院の経営努力により増収を続け、今では運営費交付金を上回っています。一方、支出面では、予算額のうち、教育研究経費40.0%、診療経費33.8%と合わせて73.8%の大きな割合を占めています。

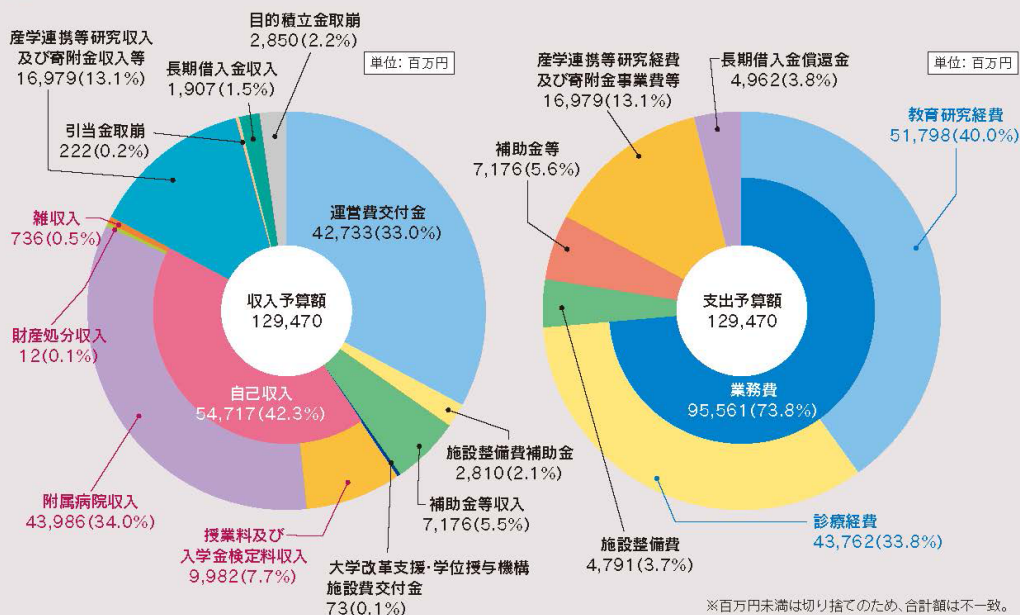
★もっと詳しく知るには

- ・ FINANCIAL REPORT (財務レポート)
<http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/publication/report/>

◆問合せ先

- ・ 予算について
 財務部財務企画課総括予算係 092-802-2341
 内線:90-2341

■ 平成30年度収入・支出予算



決算

国立大学法人は、「国民の税金」である運営費交付金、学生の授業料、附属病院の収入、外部資金等を運営資金として国から負託された教育研究診療等の業務を行っています。そのために、国民その他の利害関係者に対し、財政状態や運営状況に関する説明責任を果たすとともに、自らの財政状況を客観的に把握する観点から、国立大学法人会計基準等に従い会計及び決算を行っています。

○決算の実施

本学では月次決算、中間決算、期末(年度末)決算を実施しています。国立大学法人の会計は発生主義をとっており、教職員が物品の購入等を行った場合はその事象の発生した月にすみやかに手続きを行うこととされています。(『国立大学法人会計基準』及び『国立大学法人会計基準注解』報告書)

注意! 毎月の手続きの締切日については、所属部局の会計担当係から連絡があります。

○決算の公表

国立大学法人は毎事業年度、財務諸表等を作成し当該事業年度の終了後三月以内に文部科学大臣に提出し承認後、官報に公告し、ホームページ等でも広く一般に公表することが義務付けられています。また、国立大学法人の財務諸表等は、検証可能な形で作成し、公表しなければならないとされています。

注意! 研究費を使用するに当たっても、この点に留意する必要があります。

○決算の分析

本学では、財政状態や運営状況の把握や改善に資するため本学の対前年度との比較分析を行うとともに、全国における本学の位置付けを把握するため他大学との比較分析を行い、学内の会議等で報告しています。

★もっと詳しく知るには

- ・九州大学の財務諸表等
http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/publication/financial_statements/
- ・FINANCIAL REPORT (財務レポート)
<http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/publication/report/>

◆問合せ先

- ・決算について
財務部決算課決算総括係 092-802-2379
内線:90-2379